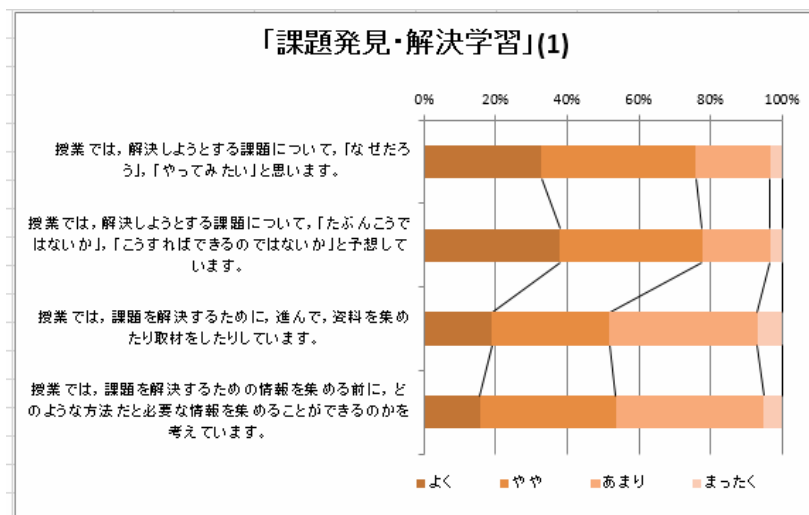


質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

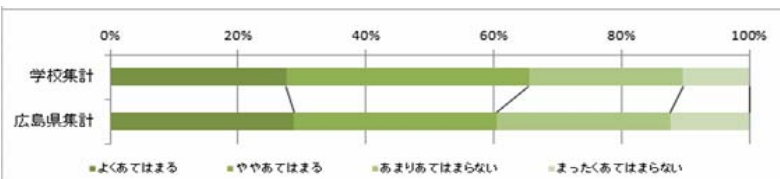
(1) 生活・学習



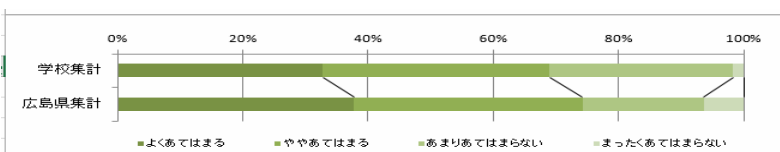
生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
	授業で課題解決のために進んで資料を集めている生徒は51.7%である。また、情報を集める方法をあらかじめ考えている生徒は53.4%である。これらのことから、主体的な課題解決を行っている生徒の割合が小さい。	2	80%	生徒アンケート	1月		

(2) 教科

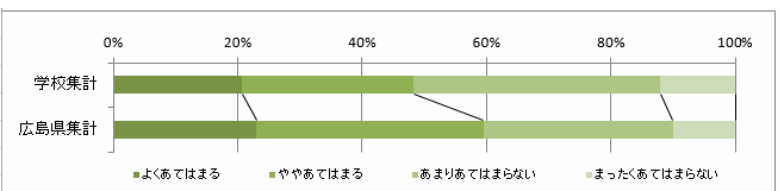
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



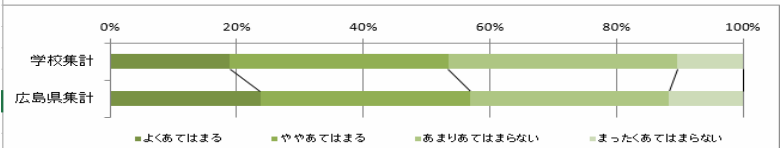
数学の授業では、問題を解くときには、前に習ったことが使えないかいつも考えています。



理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	分からない言葉や漢字があるときに、辞書を使って調べる（根拠を明確にする調べ）の「よくあてはまる」割合が若干小さい。（「よく」27.6%）	新出の言葉や漢字については、国語辞典等の辞書を使って調べさせるよう発問や学習課題を工夫する。	2	「よく」40%	生徒アンケート調査	1月		
数学	既習事項を生かした学習をしている生徒の割合が小さい。（「よく」32.8%、「肯定的な回答」69%）	単元計画を立てる際に、既習事項との関連を明確にするとともに、授業中も生徒が意識できるよう板書を工夫する。	2	「肯定的回答」80%	生徒アンケート調査	1月		
理科	予想を明確にして観察・実験している生徒の割合が小さい。（「よく」20.7%、「肯定的な回答」48.3%）	観察・実験に際しては、必ず個人や班で予想や仮説を立てられるよう板書やノートの活用方法を工夫する。	2	「肯定的回答」60%	生徒アンケート調査	1月		
英語	英語の授業で、できるだけ英語を使おうとしている生徒の割合が小さい。（「よく」19.0%、「肯定的な回答」53.5%）	学習事項以外について話す場面においても英語を活用するよう発問や指示を工夫する。	2	「肯定的回答」65%	生徒アンケート調査	1月		